

クリックでスタート!



aHouse of Colla:J *Volume.4*

家と家族でつくる街並

岡庭建設 池田隊長の なが〜い日曜日

Holiday
Event
その1
住宅見学会



岡庭建設・池田隊長のとある日曜日

西東京市を拠点とする岡庭建設は、みんなで作る家をモットーにした独自の「OKANIWA スタイル」を提案しています。その活動のリーダーは池田隊長（池田浩和専務）。ある日曜日の池田隊長に同行取材。「OKANIWA スタイル」の目指す家づくりを追いかけてきました。まず最初に訪ねたのは、この夏に完成したばかりの「桜が迎える家」。住宅見学会が開かれる中、池田隊長は別の住宅の建主とリビングで打ち合わせ中でした。長い一日のはじまりです。



住宅見学会場で打ち合わせというと、ちょっと意外な気もしますが、「これも OKANIWA スタイルのひとつ」といえます。見学会場には自然材料や住宅の機能を解説したプレートが置かれ、同社の家づくりを実物で理解できるようになっていました。最新の実例の中で打ち合わせすれば一番理解しやすいし、よりよいヒントが得られます。もちろんこうした見学会を開くには、建主の理解も必要です。自分自身が沢山の事例からヒントを得たからこそ、同じ経験をして欲しいと思うのでしょう。こうして独特の見学会は引き継がれ、ひとつのスタイルになっていったのです。



ソーラーれん 床吹出口
屋根から取り込み、暖められた空気が
立下りダクト、床下を通り
室内へ流れ出す口です。



Holiday
Event
その2
TV 取材



【 昼過ぎに見学会場を出発した隊長は WebTV の取材を受けるため、次に「丘のある家」へ向かいます。お昼はコンビニのパンで済ませました(^_^;) 】

この住宅では、道路から下がった斜面に木を植えて小さな「丘」を作りました。密集した住宅街にありながら、この家は別次元の雰囲気です。2階窓から見た向かいの家も、階層がずれているので視線はあまり気になりません。



土地の特徴をいかした「長期優良住宅」

この日の取材は、国産材の普及促進を目的とする「日本の木の家情報ナビ」(左下のリンクをクリック!)のもので、建主との対談や住宅の解説をビデオ撮影しました。

丘のある家は、最近話題の「長期優良住宅」です。耐震性やメンテナンス性に優れ、快適に長く暮らせる長期優良住宅は、様々な優遇措置はあるものの予算が掛かるのも事実です。そこで通常は嫌がられる、道路から一段降りた土地を有効活用し、周囲の家とは0.5階層分高さをずらしたプランを考案。プライバシーを守りながら開放感のある家を実現しました。土地選びの段階から建主ととことん話し合い、共に考えを出し合いながら作っていくのも「OKANIWAスタイル」なのです。



Holiday
Event
その3

ワークショップ



【池田隊長が取材を受けている頃「桜が迎える家」ではウッドデッキの「メンテナンスワークショップ」が開かれていました。建主ファミリーも集まりペイント体験】



完成後「岡庭ファミリー」でつながる

建主 OB 達の集う「岡庭ファミリー」。住宅の完成後も建主達は交流を続けています。この日は「桜が迎える家」で開かれたワークショップに集合。小林塗装の小林さんからウッドデッキの塗装方法を学びました。塗料はリボス社の水性自然塗料「タヤエクステリア」。塗り替える回数は多くなるものの、自然塗料なら子ども達も安心してお手伝いできます。こうした交流を通して新たな建主への情報提供も行われます。建主同士がよりよい家づくり、そして暮らしづくりを共に目指しているのです。



アマニ油などを使った自然塗料は、布に付着した状態では自然発火する可能性があるため、必ず水に浸した状態で捨てます





Holiday
Event
その1
ファミリー会



ワークショップの後は恒例の食事会です。ウッドデッキに食卓を出して、思い思いの場所で夕べのひとときを楽しみます。若いファミリー世代の多い西東京市では、あまり見られなくなったご近所づきあいが、岡庭ファミリーを軸に復活していると感じました。家の距離より、価値観を共有できる仲間かどうか大切なんです。池田隊長も取材先から戻りまず一杯。実は「桜が迎える家」の隣りに建つ家も、岡庭で建てた「ものみ台のある家」です。その建主が裏の土地を売る際「ぜひ岡庭で建てる方に」ということでこの家は実現しました。





【「桜が迎える家」と「ものみ台のある家」の間には大きな塀はありません。家と家とをつなぐ縁は、やがて街全体に広がっていくのかもしれない】